



### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

#### I. 土曜集会において

対象：中高全生徒

実施時期・回数：月に1回・年に10回（前述の2に関するものを抜粋して記載）

実施内容：

<中学校>

5月会議通訳者 長井鞠子氏の講演、6月諸宗教に学ぶ 1年：聖路加国際大学付属礼拝堂訪問 2年：イスラム教モスク・東京ジャーミー訪問 3年：仏教のお話 宝泰寺住職 藤原東映師、7月映画鑑賞「Girl Rising～私が決める、私の未来～」発展途上国の女子の現状、11月国立極地研究所 伊村智氏の講演、2月リベラルアーツ教育J Prep代表 齊藤淳氏の講演

<高等学校>

5月聴導犬普及協会の講演、9月映画鑑賞「60万回のトライ」在日朝鮮学校のラグビー部の活動、10月在日韓国人ピアニスト崔善愛氏の講演と演奏 など

#### II. 平和学習において

##### 1. 長崎修学旅行

対象：中学3年生

実施時期：5月12日から15日

実施内容：

実際に原爆の恐怖を体験した「長崎証言の会」の方の案内で、長崎市内を歩くフィールドワークを行った。平和公園、浦上天主堂、被ばく鳥居、原爆資料館などを訪ねながら、原爆が投下された当時の長崎の様子を生徒は直に聴いた。

##### 2. 沖縄修学旅行

対象：高校2年生

実施時期：11月9日から13日

実施内容：

真珠湾攻撃によって始まった太平洋戦争時に、日本の国土で唯一地上戦となり、多くの一般市民が犠牲となった沖縄の戦争の跡を見学した。平和祈念公園、ひめゆり平和祈念資料館、糸数壕、チビチリガマなどを訪れ、沖縄戦の悲惨さを学んだ。また米軍基地の問題についても学び、沖縄が抱えている現在の問題にも触れた。

##### 3. 平和提言集発刊

「戦いのない時代にするために」というテーマの平和提言集第5巻を発刊した。11名の生徒の応募があり、優秀な作品については表彰した。

##### 4. ARE (ASK RESEARCH EPRESS) 学習

中学校2年生は、週に1時間、長崎の修学旅行に向けての準備学習として、原子力爆弾についての調べ学習を主に実施した。

中学校3年生は、週に1時間、平和と人権をテーマとした学習を実施した。2年

時に引き続き、原爆についての学習、戦争を生み出す社会について学習した。またハンセン病患者を隔離した歴史についても学習した。国立ハンセン病資料館に学年全体で毎年訪問している。

## 5. 国際交流プログラム

### 派遣プログラム①

派遣先：Queen Margaret's College（ニュージーランド）

対象：中学3年、高校1年、2年 計10名

実施時期：8月3日から16日

実施内容：

現地の生徒の家庭にホームステイをしながら、実際に行われている授業を体験した。またアボリジニの文化にも触れた。

### 派遣プログラム②

派遣先：St. Stephen's Episcopal School（アメリカ）

対象：高校1年1名

実施時期：9月～次年度5月

実施内容：

寮生活をしながら、セントスティーブンスの生徒の一人として学校生活を送る。現地の生徒と同じように授業に出て、試験を受ける。単位認定候補生として留学し、留学先できちんと学校生活を送ってきたことが証明された時点で、出発時の学年の単位を一括認定され、帰国時に進級することができる。

### 派遣プログラム③

派遣先：St. Margaret's College（ニュージーランド）

対象：高校1年1名

実施時期：1月～次年度9月

実施内容：

寮生活をしながら、セントマーガレットの生徒の一人として学校生活を送る。現地の生徒と同じように授業に出て、試験を受ける。単位認定候補生として留学し、留学先できちんと学校生活を送ってきたことが証明された時点で、出発時の学年の単位を一括認定され、帰国時に進級することができる。

### 派遣プログラム④

派遣先：University of California – Davis (UCD)（アメリカ）

対象：高校1年18名

実施時期：8月1日から11日

実施内容：

世界トップクラスの大学で生命科学などの最先端の研究分野について講義を受け、実験などを通して科学の基礎的な知識を身につけるとともに、Sustainabilityの意識を養った。

### 派遣プログラム（その他）

高3生徒が「第2回高校生カンボジアスタディーツアー」に参加。ツアー報告を全校生徒で分かち合った。

### 受け入れプログラム①

Trinity University of Asia High School（フィリピン）より

人数：生徒2名、教員1名

受け入れ学年：中3

実施時期：10月17日から27日

実施内容：

留学生は、在校生の家庭にホームステイをして一緒に登校した。中学校の英語の授業に連日参加して、中学生と英語でゲームをしたり、自由に会話をする交流の時を持った。文化祭にも参加して、ダンスを披露してもらった。

受け入れプログラム②

St. Stephen's Episcopal School (アメリカ)より

人数：1名

受け入れ学年：高1

実施時期：9月～次年度6月

実施内容：

留学生は、在校生の家庭にホームステイをして一緒に登校する。高校2年生のホームルームに在籍して、在校生同様本校の授業を受ける。体育祭、文化祭、スキー学校などの行事にも参加して、在校生と交流の時を持つ。日本語教師による日本語指導を個別に受ける機会が与えられる。

6. 国際交流グループ(St. Margaret's International Society 通称 SMIS)の活動
- ① 留学生グループ 年間を通して、来校する留学生のお世話をした。
  - ② マーガレット祭グループ 本校の国際プログラムやユネスコスクールについて発表した。
  - ③ ディスカッショングループ 毎週火曜日の昼休みに国際問題についてのテーマを設定して話し合った。
  - ④ 新聞グループ 年間を通して、本校の国際プログラムについて掲示した。
  - ⑤ 寄付グループ 使用済みテレホンカード、未使用・使用済み切手を NGO シャプラニールに送った。
7. 模擬国連
- 玉川学園模擬国連に10名が参加し、中央アフリカ、クウェート、イギリスの大使として難民問題に取り組んだ。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他(ユネスコクラブと言う名称ではありませんが、「国際交流グループがユネスコスクールとしての活動を行っています。)